

DJ Magazine 1月号 (2021)

ドキュメンタリージャパン

vol.54 2021.1.6

映像制作会社ドキュメンタリー
ジャパンが今お届けするテレビ
番組や映画のお知らせです。

新日本風土記

「隠岐諸島」

放送予定: NHK BSプレミアム / NHK BS4K 同時放送

1月29日(金) 午後9:00~9:59 / 再放送: 2月5日(金) 午前8:00~8:59



古くから日本海交易の要所だった島根県・隠岐諸島。流刑地だったことでも有名なこの地は、多様な文化を受け入れながら独自の風土に昇華させてきた。流罪になった後鳥羽上皇も楽しんだと伝わる日本最古の闘牛「牛突き」は、“牛バカ”たちの情熱で支えられる。“見てはいけない”「であんな祭り」では町から人の姿が消え、散骨の島「カズラ島」では死者は島の一部となる。様々な人を、思いを包み込む、隠岐の島々の物語。

東京から飛行機を2便乗り継いでようやくたどり着く辺境の地、隠岐諸島。ただの辺境とは侮れない、伝統と新しさが共存している不思議でちょっと面白い島々取材してきました。その中でも一番の驚きは、見てはいけない「であんな祭り」。ん?見てはいけない祭りをどうやって撮影するんですか!?という驚きとともに始まったロケ。ところが、地域の人たちに聞けば聞くほど恐ろしさと可笑しさが積み出てくる奇祭でした。その実態はぜひ番組で!

アシスタント・ディレクター 於保清見

製作スタッフの
つぶやまき

英雄たちの選択

真相 本能寺の変! 細川藤孝 戦国生き残り戦略

放送予定: NHK BSプレミアム 1月20日(水) 午後8:00~9:00

再放送: 1月27日(水) 午前8:00~9:00



所蔵・永青文庫

細川藤孝(幽斎)は、室町幕府に始まり信長、秀吉、家康に仕え戦国時代を生き抜いた武将。「本能寺の変」後の政局のキーパーソンとして知られている。明智光秀と深い関係を築いていた藤孝は本能寺の変で大きな選択を迫られる。室町將軍の側近から戦乱をくぐり抜け、泰平の世に至る藤孝の生き様をスタジオの識者たちと掘り下げる。

戦国時代は「武」に長けた者が生き残りと思っていた。ところが細川藤孝は「文」に長けた武将で、彼の「文」を利用できた者が天下を取っていたのだ。藤孝の末裔である総理大臣の細川護熙さんも天下を取った人であり、現在はアーティスト。限りなく文系の私にとって、いつも遠い世界にいた英雄たちが、ほんの少しだけ身近に感じたのだった。

ディレクター 馬場 友佳里

製作スタッフの
つぶやまき

レギュラー番組への道

「まいにち 養老先生、ときどき まる」冬編

放送予定: NHK BSプレミアム 午後11:15~11:45

第一話: 1月29日(金) / 第二話: 2月5日(金)



5月放送の春編、12月放送の秋編に続き、またまた養老先生と愛猫まるの毎日によりそう番組シリーズの冬編。日々を生き抜くための「金言」と、ほんのちよっぴりの「毒」は、今を生きるわたしたちの気持ちを解きほぐすサプリメントだ。冬景色に装いを変えた鎌倉の私邸で、83歳の解剖学者は愛猫を慈しみながら時間を重ねている。病を経て、生と死を思う、冬。

Special / 第11回 座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル

ドキュメンタリージャパンが毎年『座・高円寺』で開催しているドキュメンタリーフェスティバル。今年の見どころをご紹介します！

今年のテーマ

“時間(とき)”を記録する

今年の特集上映のテーマは「時間(とき)」を記録するです。長期にわたっての取材、或は、ある瞬間を切り取る試みなど、ドキュメンタリーの作り手と取材対象との関わりについての“時間”を考察します。また、ドキュメンタリーにおける方法論としての“演出や仕掛け”についても考えを拡げるつもりです。

クラウドファンディングに挑戦

今回、コロナ禍の影響で開催継続が危ぶまれていた為、クラウドファンディングに挑戦しました。多くの支援を頂くとともに、“このイベントを継続してほしい”という温かい声を多くの皆さまに寄せていただき、胸が熱くなりました。この座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバルは、テレビや映画などの枠を超えて、ドキュメンタリーを通じた様々な出会いがあります。作り手や観客が対話のできる貴重な場なのだと思います。ご来場いただける観客の皆さまの為に、自分たちも含めた作り手たちの為にも、この場を継続していければと思っています。感染症対策を万全に開催していきたいと思っていますので、多くの皆さまのご来場お待ちしております。

●開催期間：2021年2月10日(水)～14日(日)

●会場：座・高円寺2 (JR中央線「高円寺」駅 北口を出て徒歩5分)

HP:<http://zkdf.net>

スケジュールなど詳しい情報は映画祭ホームページをご覧ください。



「イサドラの子どもたち」



(C) 2003 P.J.R.N. Production
「送還日記」



ダミアン・マニヴェル監督



キム・ドンウォン監督

今年も豪華なゲスト!!

是枝裕和さん、森達也さん、諏訪敦彦さん、金平茂紀さん、安田菜津紀さん、田原総一朗さんなど。今回は、コロナ禍の中での開催ということもあり、オンラインでのトークが多くなりますが、だからこそ、世界の作り手と繋がります。フランスからは「イサドラの子どもたち」でロカルノ国際映画祭最優秀監督賞を受賞した若き俊英、ダミアン・マニヴェル監督。韓国からは、傑作ドキュメンタリー「送還日記」のキム・ドンウォン監督。他豪華ゲストに多数ご参加いただきます。

連載リレーコラム

「私のデビュー作」

第9回

ディレクター 酒井克

番組名 / 甘いお話 フルコース最後の花の巻 (テレビ東京 | 1996年)



デビューは「甘いお話」というミニ番組。「初のロケに遅刻したら大変！」と前夜にハイエースを借り赤坂小前の歩道橋下で車内泊して備えるも緊張で一睡も出来ず。インタビューでポール・ポキューズのシェフに「あなたにとって砂糖とは？」と聞くと「その質問は難しい」と返され「アワワ…」と焦っているとカメラマンがさかさず助け舟。デザートのも撮りも技術陣が手際よく美しく見せていく様をただ黙って見ているのみ。音効は自身がする決まりだったがセンスも無く音楽に気を取られて現場の音をないがしろにして猛省。「周りには自分には到底及ばないプロがいる、ならばその人に甘えよう任せよう信じよう！」いま思えばその考えはデビュー作が原点だったのかも。

09

今回の執筆者

ディレクター 山口恒治さん

強面の人にも初々しい時があったと信じて…

訃報

弊社代表取締役 清水哲也儀 (享年65) 脳溢血により12月4日に永眠いたしました。

ここに生前のご厚意を感謝致しますとともに謹んでお知らせさせていただきます。

通夜 葬儀告別式につきましては、昨今の状況下を鑑みてご家族のみにて執り行われました。

御香典やご供花などのお気遣いにつきましては故人及びご家族の希望により辞退させていただきます。

来年時期を見てご遺族とご相談しながら故人をしのぶ会を行いたいと考えております。

株式会社ドキュメンタリージャパン
代表取締役 本木敦子 長谷川三郎

制作中の番組



その他、多岐に渡る作品を制作中です！詳細はドキュメンタリージャパンのHPまで。

編集後記

2020年とんでもない一年の最後に、とても悲しいことがおきました。DJの代表・清水さんの急逝。いまだに信じられない気持ちでいっぱいです。入社当時、清水さんが「ドキュメンタリージャパンの人たちは、これから一生の付き合いになるかもしれないから、大切にね。」と仰っていたこと、いろんな思い出がぼつりぼつりと浮かんできます。清水さんにお礼を言おうと思っていたことがあったのに、もう言えなくなってしまったんだと、あまりの急な別れにぼんやりしてしまいます。清水さんが永年にわたり代表として守ってくださったDJの良さを、これからも大切にしていきたいです。(S.N)

Design by HARIMA koutarou

株式会社ドキュメンタリージャパン

HP: <http://www.documentaryjapan.com>

〒107-0052 東京都港区赤坂8丁目12番20号 和晃ビル1F TEL:03-5570-3551 FAX:03-5570-3550